

みかい

安住院便り
(第24号)

平成22年1月1日発行

〒703-8236

岡山市中区国富3丁目1-29

住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

里山(さとやま)の思い

操山の中、安住院の隣の沢田地区に、操山公園里山センターが開かれて十年になります。皆様のなかにも何度か訪れ、また操山の散策をなされた方も多いかと存じます。ハイキングコースもあり、山歩きを成される方には、岡山市内から近い距離で、様々な樹木や野鳥などに触れられる最適の場所ではないでしょうか。

里山という名称は、比較的新しいそうですが、人間と自然が共存出来る場所として、最近特に感心が集まっています。環境問題だけでなく、人間が生きていく上で、欠かせないものであるとの指摘もあります。



原始以来人間に触れられてない原生林などの自然遺産とは異なり、私達と深く関わってきた身近な生活空間として、歴史や文化なども兼ね備えた場所が、里山と呼ばれるものです。そして、その里山を守るためには、様々な形での努力も必要であるとの考えが一般的です。何もしないことが、自然を守ることで

里山と呼ばれる森林は、木々を伐採し、住宅地などにしてしまうと、土砂災害などを引き起こします。しかし逆に何もしないで放置してしまうと、竹林や雑木林が茂ってしまい日光も届かなくなり、他の動植物が生存出来なくなり、ある程度の間隔をもった樹木の成長と、他の生物との共生が必要なのです。昔は、燃料や家畜の餌などとして人間が深く関わってきた里山も、現在は意識をもつて取り組まないと、里山自体の存在を失ってしまうのです。更にそれらの中心として、神社仏閣の果たしてきた役割も大きいのです。

安住院を含む操山も、その里山の一つであります。それは、江戸時代から守られていたのです。当院に残る岡山藩からの禁制札には、樹木の伐採や家畜の放牧に対して許可無く行わない旨が記されています。その時代から、操山の保全に対する意識が備わっていたのです。現在、風致地区には指定されていますが、更に踏み込んだ適正な森林の在り方、里山の残し方について議論が必要なのです。皆さんが気持ちよく散策出来る操山、その中に佇む多宝塔も一つの位置づけになるはずで

安住院ホームページ <http://www.anjuin.com/>

初観音法要のご案内

来る一月十七日（日曜）

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

年頭にお配りする、「とし書き」にご記入の上、「ご参詣下さい。」また、特別祈祷も申し受けますので、三日前までにご連絡下さい。

多宝塔 屋根葺替

昨年の春には、屋根の葺替え工事を見学していただきましたが、その工事もほぼ完了し、新しい葺が眼にまぶしく映ります。その屋根を見上げて、多宝塔の構造の素晴らしさを実感しています。

多宝塔修復工事も最終段階に入り、仮屋根の外れる日も近いのでは思っています。皆様と一緒に眺めることが出来ることを待ち望みながら、

多宝塔を中心とした、瓶井山安住院の境内整備をする予定です。そして、ご尽力頂いた皆様に対して感謝の気持ちでいっぱいですが、より一層のご理解ご協力をお願い致します。



瀬戸内観音霊場開創記念法要

本年四月九日（金）に毎年恒例の瀬戸内観音霊場の開創記念法要が行われます。

今年の会所は、福山市沼隈町（第二十四番札所）の磐台寺です。

瀬戸内観音霊場参拝

昨年の十月二十三日、瀬戸内観音霊場参拝の第一回目を行いました。安住院も参加している観音霊場で、今回は備前播磨の八ヶ寺を巡りました。

近くても中々お参り出来ないもので、前回より早や十五年が経っていました。

余り広くは知られてはいませんが、風光明媚な瀬戸内の寺院、文化財などもある古刹、赤穂浪士に縁のある所など、巡れば感動を受けることばかりでした。さわやかな秋晴れの中、ゆっくりとお参りいたしました。

また各寺院でのご接待にも感謝し、観音様はどこでもいただくさる有り難い仏様と、感じるこの出来のお参りになればと願っています。四回日帰り団参となりますので、ふるってご参加下さい。次の予定は、四月二十二日（木）ですので、宜しくお願い致します。

